

プラスチック資源物の分別収集・リサイクルの導入について

1 導入の経緯

「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律（令和4年4月1日施行）」に基づく本事業については、令和5年度から筑西広域市町村圏事務組合 環境センター及び構成市（結城市・筑西市・桜川市）で導入に向けた協議を重ねた結果、3市が足並みを揃えて、令和8年度下半期から分別収集を開始することとなりました。



2 主な目的

- ① リサイクルによるプラスチックの再資源化
⇒ 資源循環社会の推進、プラスチックを「ごみ」から「資源」に!
- ② 可燃ごみ・不燃ごみの削減
⇒ 処理費用の抑制、最終処分量の減少
- ③ 焼却で発生する CO2 の削減
⇒ 脱炭素社会（カーボンニュートラル）への貢献
- ④ プラスチックごみ処理に伴う処理負荷軽減
⇒ 処理施設の長寿命化、将来コスト（修繕・新設）の抑制
- ⑤ 市民の環境意識の向上、市のイメージアップ
⇒ リサイクル率の底上げ

2 対象となるもの

分別対象品目

※事業(農業含む)のごみは対象外

容器包装プラスチック

★商品を入れたり包んだりしているプラスチック製の容器や包装



袋類



容器類



ラップ類



カップ類
(プラ以外の蓋は取る)



ボトル類



その他梱包材

…など



マーク
がついている
「容器」や「包装」

Check!

製品プラスチック

★100%又は大部分がプラスチック素材でできているもの(50cm未満)



クリアファイル



定規



下敷き



洗面器



ボウル



バケツ



プランター



ちりとり



プラ食器



ストロー



歯ブラシ



チャック付
ポリ袋



タッパー型
保存容器



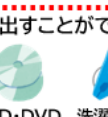
電気を
使わないおもちゃ



じょうろ



ボールペン
(芯は除く)



CD・DVD



洗濯ばさみ

…など

★大部分がプラスチック素材の製品も出すことができます

★大きなものや長いものでも、50cm以下に切れば出すことができます



梱包用バンド
(PPバンド)



荷造りひも



レジャーシート

…など

※禁忌品目

NG プラスチック資源の対象とならないもの

①汚れの取れないもの



食品残さが取れない容器

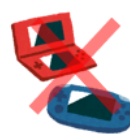


土・肥料が
ついているもの …など



★土砂および食品残さ(納豆のねばねば、マヨネーズ等の油など)が付着している場合は
燃やせるごみで出してください

②小型家電類・発火の危険のあるもの



ゲーム機



加熱式タバコ



電動歯ブラシ



電気がみそり



ライター



電池式おもちゃ

…など

③刃物類



はさみ



カッター



押しピン …など

④ペットボトル



★これまでどおり
「ペットボトル」
の区分で
出してください



プラスチックは
えらんで減らしてリサイクル

4 導入スケジュール（予定）

プレ導入 令和8年10月1日～
筑西市役所本庁舎または各支所で
拠点回収を開始



本格導入 令和9年4月1日～
各地区の**ごみ集積所**で収集開始



5 プラ資源物の収集方法（※現在、詳細調整中）

令和9年4月から「**プラごみの日**」（週1日）を設定します！

【収集頻度】**週1回**を想定

【排出場所】**可燃ごみ集積所**

【排出方法】

- ①軽く洗うなどして、目に見える汚れを取り除く。
- ②容器包装プラスチックと製品プラスチックをまとめて、**中身が見える袋（無色）**に入れる。
※袋の大きさは、20L～45L お願いします。
- ③指定された曜日に、**可燃ごみ集積所**に排出する。



プラスチックは
えらんで減らしてリサイクル

6 リサイクルの手法

マテリアルリサイクル

廃プラスチックを原料に、パレット、土木建築資材、工業用品などが作られています。

マテリアルリサイクルの再生製品例(写真提供/日本容器包装リサイクル協会)



パレット



再生樹脂



車止め

ケミカルリサイクル

右は、ガス化によってできた化学工業原料から繊維製品や肥料に再生した例です。

このほか、製鉄所で還元剤として使用(高炉原料化)、コークス・炭化水素油・コークス炉ガスに再生(コークス炉化学原料化)なども行われています。

「ガス化」の再生製品例(写真提供/昭和電工株式会社)



繊維製品



肥料

サーマルリサイクル

廃プラスチックと古紙類を原料にRPFという高カロリーの固形燃料を作り、製紙工場などで石炭代替の燃料として利用しています。また、廃プラスチックを含むごみの焼却時に出る熱で発電したり、温水プールや暖房などに利用しています。

プラスチックの発熱量は紙ごみの約2.5倍。なかでもポリエチレンやポリプロピレンは、石炭や石油と比べても遜色ない高い発熱量を持っています。



固形燃料(RPF)

※一般社団法人プラスチック循環利用協会『プラスチックとリサイクル8つの「?」』から引用

【問い合わせ】

筑西市役所市民環境部 環境課 生活環境係

TEL:0296-24-2130

Mail:environ@city.chikusei.lg.jp